

大豆情報第3号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

本年の6月下旬から8月上旬の気象は、平均気温は27.3℃（平年比+1.7℃）、降水量は340mm（平年比74%）、日照時間は320.7時間（平年比113%）と高温少雨傾向で推移しました。

7月中旬播種の大豆は、現在開花前で、生育前半の少雨・乾燥の影響で生育はやや抑えられています。これから開花期を迎え、結実・着莢に入っていきます。次のことに注意して栽培管理を行ってください。

1 排水対策

右の写真は8月中旬の降雨1日後のほ場です。畝間に滞水しており、根の生育に悪影響を及ぼします。

このため、排水溝及び畝間の交差点の整備を行い、降雨後の地表排水を促しましょう。

畝間の交差している箇所を整備し、排水を促す



2 雑草防除

右の写真のように、中耕培土後に発生したイネ科雑草の繁茂しているほ場が多くみられます。このようなほ場では、ポルトフロアブル（10a 当たり 200~300ml を水 100ℓに溶かす）を早めに散布しましょう。

ホソアオゲイトウ等広葉雑草は効果の高い除草剤がないため、中耕培土で防除してください。



ハスモンヨトウ

今年のハスモンヨトウは、少雨傾向で7月下旬から白変葉が見られましたが、白変葉の発生は現在まで少なく推移しています。フェロモントラップの誘殺数は8月上旬に増加しており、8月下旬の白変葉の発生に注意が必要です。今後、発生は地域やほ場で異なるため、ほ場で白変葉や虫の発生状況を確認しながら防除を実施してください。



★農薬を正しく安全に使用しましょう！！

- ① 散布前に必ずラベルを確認
- ② 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止を徹底
- ③ 散布後は必ず散布器具（タンク、ホース等）を洗浄
- ④ 防除履歴の正確な記帳